

2018. 8. 1

歴史民俗資料館だより No.125

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

くんち資料展

会 期 8月23日(木)～10月14日(日)

展示品 くんち衣装・今年の踊町の写真・絵画
・書蹟・記念品・絵葉書等 約100点



羽織型くんち手拭張り混屏風

昭和60年(1985)頃 吉村愛子氏寄贈

寛永11(1634)年に長崎諏訪神社の秋の大祭「く
んち」が始まり、今年で384年となります。

長年の間に、江戸時代の大火災、昭和の戦災や
大水害、そして町名変更などをへて、時代と共に
7年に1度出演する踊町の数や組合せ、演(だ)し
物の多くが変化してきました。

今年の踊町は、紺屋町の傘鉾・本踊、出島町の
傘鉾・阿蘭陀船、東古川町の傘鉾・川船、小川町
の傘鉾・唐子獅子踊、本古川町の傘鉾・御座船、
大黒町の傘鉾・唐人船、椀島町の傘鉾・太鼓山(コ
ッコデショ)の7ヶ町です。

今回の展示に際しまして、貴重な資料を御寄贈、
御提供いただきました稲富裕和様、牛山純緒様、
中川雅夫様、中川裕二郎様と、今年の踊町の北斗
会様を始め、関係者各位に深く御礼申し上げます。



前宮三之御柱御神木

牛山純緒氏提供

信濃國一之宮諏訪大社の平成28年丙申
の年の式年造営御柱大祭に使用された樹齡
150年を超えるモミの大木です。

本御神木は上社前宮(茅野市)三之御柱に
使用された貴重品です。

諏訪大社は長野県の諏訪湖の周辺に4カ
所の御宮を持つ神社で全国各地にある諏訪
神社の総本社です。

くんちの語源

重陽の節句、菊の節句の九月九日、この
九日のくにちが「くんち」になったと言わ
れています。

諏訪神社では寛永3(1626)年はじめて
神楽を奏し湯立神事が行なわれましたが、
大祭の最初は寛永11(1634)年でした。この
時の社地は、まだ現在の玉園山に移る前の
円山(現、松ノ森神社)で、9月7日、遊女
高尾・音羽の両人が神前に謡曲小舞を奉
納。午後、神輿が御旅所に渡御して、8日
が大祭で、御旅所で湯立神事が執行され、
9日無事神輿は還御されました。(慶安元
(1648)年・玉園山遷宮)

なお、江戸時代の太陰暦の9月は、現在
の太陽暦の10月に相当します。



家紋まん幕

長崎くんちの踊町は、小屋入り、庭見世、人数揃い、前日、中日、後日に家紋入りの幕を張ります。

この幕は桶屋町の中村家で使用され、隅立四つ目紋が染められています。使用時は中心を上朱紐で結びます。

家紋まん幕

昭和 17 年 (1942) 峰 道子氏寄贈



勝山町大薩摩指物図 弘化二年 (一八四五)

野川美恵子氏寄贈



紺屋町 川船船頭衣装

昭和 8 年 (1933) 若山静枝氏寄贈



駅前町の唐人船 船頭衣装

駅前とは現在の大黒町の事です

昭和 36 年 (1961) 中川雅夫氏寄贈



清水崑筆 おくんちかっぱ屏風

昭和 45 年 (1970) 頃 清水梢太郎氏寄贈